

# 指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.
<b>施設の名称</b>	山形県体育館及び山形県武道館	<b>指定管理者</b> 公益財団法人山形市スポーツ協会
<b>所在地</b>	山形市霞城町1番2号	<b>県担当課</b> 教育庁スポーツ保健課
<b>指定期間</b>	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日	(電話番号) (023-630-2832)
<b>検証期間</b>	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日	

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
<b>1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況</b>			
① 管理・運営業務の履行状況	・新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休業(4/4~6/9)や、20時までの短縮時間での開放(6/10~10/31)があったが、協定や「社会体育施設再開に向けたガイドライン」等に基づく管理運営を行った。 ・企画事業等実施についても影響があった。 ・年間を通じて大会等のキャンセルが相次ぎ、土日祝日の利用が減少した。	A	<<評価の理由>> ・管理運営について、仕様書に沿って適切に行われている。 ・施設設備の修繕については、協定の金額を大きく上回って実施している。 ・新型コロナウイルス感染症対策については、スポーツ庁や各競技団体のガイドラインを遵守し、適切に行っている。
	② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	・施設の老朽化に伴い電気関係のトラブルが多く、都度修繕を行ってきたことにより予算額を大きく超えた。また、給水管や排水管等も劣化による水量不足や排水管のつまりが発生している。	<<課題等の原因分析>> ・県体育館・武道館は耐用年数を大幅に過ぎており、施設設備の老朽化が激しい。 ・不特定多数の利用者が使用している水道蛇口やドアノブ等の設備が接触型であり、感染拡大の原因となる危険性がある。
課題、問題点への今後の対応	・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策は喫緊の問題であり、クラスター発生の原因となりえる不特定多数の利用者が触る箇所の対策は早急に行う予定である。		
<b>2 利用者からの要望等への対応</b>			
① 意見・要望等及びその対応状況	・利用者に消毒作業への協力やマスク着用の徹底などをお願いしたところ、理解と協力を得ることができ安全に開放ができています。結果、感染症対策について評価が高い。 ・休業期間中を利用して利用者からの要望のあった駐車場のライン引きや、設備備品等のチェックを職員自らが行い好評を得ている。	A	<<評価の理由>> ・新型コロナウイルス感染症対策には利用者の協力が不可欠であり、利用者団体と協議しながら対策を練って実施しており、利用者の安心感を高めている。 ・用具の修繕や利用調整など利用者からの要望には、迅速・丁寧に対応している。
	意見・要望等への今後の対応	・引き続き利用者の意見・要望や利用の実態を的確に把握し、サービスに反映していく。 ・利用者からの要望に対しては、今後とも可能な限り対応する。	
<b>3 指定管理者制度活用の効果</b>			
① サービスの向上	・利用者からの要望や備品の修繕に対しては、速やかに対応してきた。職員による開館前の清掃並びに点検作業や休館日の軽度な修繕等で、安全性の向上に努めている。 ・消毒や換気作業はもちろんのこと、洋式トイレに消毒液を設置するなど細かな点での感染症対策を行った。	A	<<評価の理由>> ・利用者からの要望や意見には、可能な限り対応しており、満足度の向上につながっている。 ・新型コロナウイルス感染症対策には、工夫を凝らしてきめ細やかに対応しており、施設の安全性を高めている。
	② 経費の節減	・日頃の点検作業を徹底することで経費の削減に努めた。 ・消毒液等の購入には当協会の賛助会員等の協力を得て、安定かつ安価で行うことができた。	A
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	・山形県認証「お古紙くださいリサイクルシステム」を採用し分別とゴミの削減に努め、事業系古紙のリサイクルに努めています。 ・物品等の購入は地元企業を優先し地域経済の活性化に努めている。	A	<<評価の理由>> ・山形市と市内企業が中心となった古紙リサイクルシステムに加入し、県が推奨する循環型社会の構築に貢献している。 ・県内企業に優先的に業務委託を行うことで、地域の雇用の確保と経済活性化に寄与している。
総合的な評価	・施設管理者としての意欲と責任感を持って日々の業務にあたり、適切に施設管理がなされている。 ・施設設備や備品の老朽化による不具合があるなかで、日常の安全点検や職員による小修繕など行い、利用者の安全の確保と利便性の向上に努めている。 ・新型コロナウイルス感染症の県内感染状況が日々変わり、国や県、競技団体が設定する防止対策ガイドラインが頻発されるなかで、情報収集に努め、迅速にガイドラインに沿った対策を取っており、施設管理者として利用者の安全確保を第一に業務を実施している。 ・今後とも常に利用者を第一として迅速かつきめ細やかなサービスの提供に努め、山形市の地域スポーツ活動の拠点として市内の体育施設と連携しながら、引き続き工夫を凝らした運営を期待する。		

**【評価指標】**

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。